

井上良子さん

障害者自立支援



NPO法人ピアネット北 東京都北区

立場や障害の枠を越え、楽しく
住みよい地域の実現を目指して

「自分が歳をとってから、障害を持つ息子の生活はどうなるんだろう?という思いがあったんです」

これまで、障害者の生活は、自宅が大人数の施設がほとんどだった。ほかに「グループホーム」という少人数での生活形態があるが、まだまだ数が少なく、さらに肢体不自由の人のための場所はかなり少ない。

井上良子さんは、自らが理事長を務める障害者福祉のNPO法人「ピアネット北」で、それを実現しようとしている。同団体では現在、重度身体障害者のためのグループホーム「やじろべえ」の建設に力を注いでいる。設計の段階から新し

い考えを取り入れ、家庭の雰囲気により近い形態にこだわり、施設は今年春に完成予定だ。

自身が、重度身体障害者のご子息を持つという井上さん。

「どんなに重い障害があっても、安心して、楽しく生活できる地域づくりを目指して活動しています」と語る。

「ピアネット北」の前身は、市民団体「みんなで作ろう北区障害者計画実行委員会」。同団体は、1998年に東京都北区で障害者計画が作られることを契機に発足し、2002年10月には、NPO法人格を取得した。その後、北区から委託を受け、「北区障害者地域自立生活支援

事業」と、「地域生活支援ステップアップ事業」を主体に活動。ピア・カウンセリングや、自立生活のための相談、専門機関の紹介、北区の福祉・教育・医療関係機関のネットワーク作りなどを行う。また、バリアフリー旅行の促進や、福祉に関わる人材の育成に加え、現在は発達につまづきのある子供たちの療育相談事業「あこの会の運営も行っている」。

井上さんと山崎会計事務所は、法人化して以来の関わりだ。井上理事長が、HPで会計ソフトに強くNPO法人を得意としている事務所を探していたことが出会いのきっかけとなった。以前は経営も自分たちで行っていたが、区の委託事業を行うにあたり、都へ提出する決算書などさまざまなが必要になるため、しっかりした組織にするために、まず財政面をきちんとさせたいと考えたという。

「山崎所長はすぐに活動の理念を理解して下さり、協力して頂けることになりました」

経営についてはわからないことだらけだったので、山崎会計事務所のサポートにはとても助けられている、と井上さんは語る。

無いものは自分たちの手で
幅広い選択肢を目指して

障害者の自立と言った、すぐに一人暮らしと考えられるが、さまざまな生活の選択肢があってもいいはず、グループホームはそのうちのひとつになればと、井上さんは考える。

「このグループホームを成功させてこれからも数を増やしていけたら」と思い

ます。無いものは自分たちの手で、私たちのモットーですから」

また、たとえば地域によって通う場所が決められているデイサービスや、法人同士のネットワークが線引きを超えて自由に行き来でき、全てを幅広い中から選べるようになれば、と、将来の展望を語る。

「男だから、女だから、障害者だからというのではなく、自然体で普通に生きられることが大切だと思っんです」

選択肢の幅を増やしたい、そしてもっと自由な暮らしを―それがすべての基本にある、と語る井上さん。言葉の奥に、温かな愛情と揺るぎない信念が垣間見える。



NPO法人 ピアネット北 <http://www.peernet.or.jp/>
スタッフ10名 東京都北区豊島 5-5-5-612 Tel. 03-3905-7226